

Nuendo 3.2.1

追加機能：

- ・「無音部分の検出」ダイアログの中に“process all”機能が追加されました。プロジェクト内で選択された複数のイベントに対して「無音部分の検出」を同時に行なうことができます。
- ・YAMAHA O2R96のUser Defined Functions (UDF) に下記の機能がアサインされました。

UDF1 - Project To Front
UDF2 - Bank Left
UDF3 - Bank Right
UDF4 - User 4
UDF5 - User 5
UDF6 - User 6
UDF7 - User 7
UDF8 - User 8
UDF9 - Mixer Window
UDF10 - Channel Left
UDF11 - Channel Right
UDF12 - Toggle Automation Button (read/write)
UDF13 - Read All
UDF14 - Write All
UDF15 - User 15 / Undo
UDF16 - User 16 / Save

修正点：

- ・「無音部分の検出」の機能/精度が向上しました。
 - 複数イベントを選択した状態で「無音部分の検出」ウィンドウを開いた場合、“process all”機能が画面に表示されて、複数イベントの同時処理を行なうことができるようになります。
 - 検出アルゴリズムを最適化したことで処理速度と正確性が向上しました。
 - パラメーターの範囲とプリ-/ポストロールの初期値が最適化されました。
 - シュレッシュホールドが-60dB以下のイベントに対して正常に動作しなかった問題を修正しました。
 - リージョン値の大半がシュレッシュホールド以下の場合、Nuendoの動作が遅くなってしまう問題を修正しました。
 - チェックボックス“auto”の状態が保存されるように修正しました。
- ・Studio Sendのバンナーが左右反転している問題を修正しました。
- ・トランスポート・メニュー内の機能がいくつかグレイアウトしている問題を修正しました。
- ・ブルアップ/ダウンが有効の状態で「選択イベントから独立ファイルを作成」機能を使用した時に新しいファイルが正しく配置されない問題を修正しました。
- ・プロジェクトのスタート時間が00:00:00:00でない場合にVST System Linkが正常に動作しない問題を修正しました。
- ・「重複するイベントを削除」機能がフォルダ・トラックを併用していると正しく機能しない問題を修正しました。
- ・MCS3000のチャンネルが間違えて選択されてしまう問題を修正しました。
- ・「トラックシート」内のイベントの順番に間違いがある問題を修正しました。
- ・[Mac OS X] リモート・デバイス経由でチャンネル設定のEQを変更した場合にEQのグラフィックが崩れてしまう問題を修正しました。
- ・[Nuendo EuCon] MCまたはSystem 5 MCの“アサインابل・ノブ”を使ってダイアログ・ボックスを閉じた時にNuendoがクラッシュする問題を修正しました。
- ・[Nuendo EuCon] MCまたはSystem 5 MCのノブにNuendoのインスペクター・ペーン・ビューの自動変更を追従させる機能が最初に開いたプロジェクトにのみ有効だった問題を修正しました。
- ・[Nuendo EuCon] ステレオ・バスからよりチャンネル数の多い(5.1サラウンド・バスなど)にステレオ・トラックをリルートさせた時に、System 5 MCの408モジュールが1基のパン・ポールしか扱えない問題を修正しました。

Nuendo 3.2

追加機能：

コントロールルーム

- ・メインミックス/コントロールルーム/ヘッドフォンの各出力バス
- ・最大4系統のモニターセットアップ - 各種設定を作成可能
- ・フォールドダウン機能
- ・スピーカーソロ機能
- ・最大6系統の外部リターン入力
- ・最大4系統のスタジオを作成可能
- ・ミキサーからのスタジオセンド機能
- ・トークバック機能
- ・クリックバスを用意
- ・メインミックスからスタジオセンドへのレベル/パン設定 - 簡単にセンドミックスを作成可能
- ・自動/手動DIM機能

対応ハードウェア

- ・EuConアダプター（デュアル・ジョイスティック）に対応
- ・WK Audio ID コントロールルーム・セクションに対応
- ・Nuendo (Max OSX) : WK Audio IDに対応

その他

- ・メーター・フォールバック時間をdB相対モードに変更
- ・メーター・フォールバック時間を設定可能
- ・サンプリングレート変換の品質向上
- ・“MixConvert”においてスイッチャブル・ノーマライズモードを搭載
- ・VSTコネクション/VSTプラグイン情報ウィンドウにおいて“常に前面に表示 (Always on Top)”を使用可能
- ・初期設定：ビデオ読み込み時にオーディオを抽出
- ・初期設定：サムネイルキャッシュ
- ・初期設定：センドルーティングパンナーとチャンネルパンナーのリンク

修正点：

- ・ラインツールの改良:トラック上に新しくオートメーションデータを挿入しても、編集エリア前後に存在する元の値に対して、上書きが行われる
- ・QuickTimeビデオ再生時のジョグ機能を改良 - フレーム落ちや表示が非常に遅い不具合
- ・キーコマンドの改良:いくつかのキーが使用できなかった不具合
- ・“プロジェクトを新規フォルダに保存 (Save project to new folder)”を行う際に、“ファイルの最小化 (minimize file)”、およびプロジェクトにおいてリアルタイム・タイムストレッチツールを使用した場合に、矛盾を生じ、新しく作成されるプロジェクトにおいてストレッチしたオーディオイベントがずれて配置される不具合
- ・ファイルのブラウズを行うと不意にクラッシュする不具合
- ・AES-31 - “メディアを統合 (consolidate media)”をオフにしても、書き出し先フォルダにオーディオファイルがコピーされる不具合
- ・720x480 (16:9) のビデオファイルが、Nuendoで利用可能なすべてのビデオプレイヤーにおいて 4:3 で再生/表示される不具合
- ・外部インストゥルメント/フリーズ機能 - VSTラックで外部インストゥルメントをフリーズしてプロジェクトを閉じた後、リセットされず、新しくプロジェクトを作成して外部インストゥルメントを使用した場合に生じる不具合
- ・QuickTimeムービーのオーディオ読み込みを行うと、クラッシュしたり動作が鈍くなる不具合
- ・半角128文字以上の名称のオーディオファイルを、Finder/デスクトップからNuendoにドラッグするとクラッシュする不具合
- ・テンポ同期を使用するMIDIプラグイン - 再生時にテンポ同期情報がMIDIプラグインに提供されない不具合
- ・TimeBaseを使用しながら微調整 (Nudge) が行えない不具合
- ・参照メディアを含むNuendo OMFファイルをPro Tools 6.4で正確に読み込めない不具合
- ・他のMIDIエディタを開いたままスコアエディタを開くとクラッシュする不具合
- ・29.97fpsのプロジェクト - スナップ単位を“1秒 (Seconds)”に設定すると、タイムコードではなく実時間の秒単位にスナップする不具合

- ・ リモートコントロール - ある状況において、リモートディスプレイにパラメーターが表示されない不具合
- ・ オーディオクリップ内のリージョンを選択し、“MPX”処理を行うと短いドロップアウトを生じる不具合
- ・ “不明なファイルの検索 (Search Missing Files)” を数回行うとクラッシュする不具合
- ・ DirectShowビデオプレイヤーにおいて、ビデオプル機能を利用できない不具合
- ・ WMVビデオの読み込み - ソースフォーマットに関係なく、抽出されたオーディオがモノラルに変換される不具合
- ・ ネットワークコラボレーション - マーカートラック受信しても、マーカートラックが表示されない不具合
- ・ ネットワークコラボレーション - “接続 (join in)” 処理を行う間、“ディレクトリの選択 (select directory) / プロジェクトフォルダを設定 (select directory)” ダイアログをキャンセルするとクラッシュする不具合
- ・ ネットワークコラボレーション - スレーブシステムでトラックのコピーを作成した場合、そのトラックをマスターシステムで占有しない状態から占有状態に再度設定すると、クラッシュする不具合
- ・ ネットワークコラボレーション - プロジェクトチャットウィンドウが背面にあると、ウィンドウを操作/移動できない不具合
- ・ ネットワークコラボレーション - “送信状況 (Transfer Status)” ウィンドウの大きさを変更してウィンドウを閉じ、再度開いた場合と同じ大きさで開かれない不具合
- ・ 解消: ネットワークコラボレーション - ある状況において、セッションの再接続を行えない不具合 (プロジェクトを保存せずに“共有 (Sharing)” 設定を変更すると生じる)。
- ・ ネットワークコラボレーション - ネットワーク上の2つのワークステーションで、サーバー上の同一プロジェクトフォルダを共有すると、生じる不具合

Nuendo 3.1.1

追加機能：

ビデオ

- ・ オーディオプルアップ/ダウン機能搭載。
- ・ HDTVフレームレートに対応。
- ・ サムネイルキャッシュを効率化しました。

ネットワーク

- ・ マーカートラックへ対応。
- ・ オンラインマージ機能を追加。

ミキシング

- ・ VSTミキサーで外部インストゥルメントをミキシング、モニタリングできるようになりました。
- ・ 一度に複数のチャンネルをコピー/ペーストできるようになりました。
- ・ 新たにパンナーモードを追加しました：Equal Power
- ・ パンナーバイパス機能を追加しました。
- ・ ミキサーでキーコマンド対象の設定が可能になりました。
- ・ MIDIトラックのインスペクターに、サブセクションヘルペティングしたVSTインストゥルメントのインスペクターを表示できるようになりました。

ファイルとフォーマット (読み込みと書き出し)

- ・ メディアを含めずにトラックファイルの書き出しが可能になりました。
- ・ トラックファイル読み込み時に、読み込むトラックの指定が可能になりました。

録音と再生

- ・ レコーディング後にコントローラーのリセットができるようになりました。
- ・ システムダウン時にオーディオレコーディングの復帰ができるようになりました。(完全な動作を保障する機能ではありませんのでご注意ください)
- ・ プリカウントで独立してテンポ、拍子の設定が可能になりました。
- ・ トラックファイルをインポートする際にサンプリングレートの変換が可能になりました。

編集

- 外部インストゥルメント/FXのフリーズ機能が搭載されました。
- のりツールで1クリックして複数のパートの結合が可能になりました。
- 選択したトラック上の選択したパートの以降にあるパートをすべて結合ができるようになりました。
- カーソルポジションを簡単に視認できる十字カーソルオプションを追加しました。
- テンポトラックに拍子設定を保持したまま「時間」の削除、挿入が行えるようになりました。
- “プロジェクト (Project)”メニューに“トラックの複製 (Duplicate Track)”コマンドを追加しました。
- MIDIトラックパラメーターのフリーズ機能を搭載しました。
- パート分解時の表示を最適化しました。
- 選択したノートだけにレガートを適用できるようになりました。
- 選択したノートの前後にある同じオクターブのすべてのノートが選択できるようになりました。
- インフォラインで複数のオーディオイベントの移調が可能になりました。

プロジェクト/一般

- VSTコネクションに外部インストゥルメントオプションを追加しました。
- VSTインストゥルメントトラックに外部インストゥルメントが表示可能になりました。
- MIDIトラックのインスペクターに、ルーティングした外部インストゥルメントのインスペクターを表示できるようになりました。
- VSTプラグインエフェクトのMIDIデバイスへルーティングしたMIDIトラックにオーディオトラックのインスペクターを表示できるようになりました。
- 外部FXにお気に入り機能を追加しました。
- 外部インストゥルメントでお気に入り機能を使用できます。
- CPU負荷を軽減するスクラブモードを追加しました。
- 外観に新規オプションを追加しました：彩度、コントラスト、ブライツネス
- レベルメーターのカラー定義が向上しました。
- 自動トラックカラー設定を追加しました。
- オートセーブ機能が向上しました。
- トラックのフォルダリング機能を追加しました：選択したトラックの状態の切り替え、トラックの開閉、折りたたみの状態を切り替える
- トラックを選択することなくトラックのサイズ変更が可能になりました。
- Mac OS XのQuartz 2D用グラフィックカードに対応しました。
- デュアルコアとマルチプロセッサPCシステムに対応しました。
- システムダウン後のエラーファイルの修復機能を搭載しました。（完全な動作を保障する機能ではありませんのでご注意ください）

MIDIとオーディオ

- 外部インストゥルメントへのMIDI出力のレイテンシー補正ができるようになりました。
- 外部FXでMIDIデバイスが使用可能になりました。
- 外部インストゥルメントでMIDIデバイスが使用できます。
- トラックオートメーションMIDIコントローラーレーンのポリュームデータをオートメーションデータに変換できるようになりました。

Studio Connections

- Studio Connections | Audio Integrationに対応しました。

修正点：

- PhotoJPEGエンコードのビデオをDecklinkビデオカードを使用して再生する際に生じる不具合
- ファイルをデスクトップからプール、あるいはプロジェクトに、ドロップせずドラッグのみを行い続けるとアプリケーションがクラッシュする不具合
- Studio Manager (Studio Connections) を使用している複数のプロジェクトを開閉するとクラッシュする不具合
- [Ctrl]+[Tab]キーを使用して複数のウィンドウを切り換える機能が動作しない不具合
- “MIDIデバイスパネル (MIDI Device Panels)”のオートメーション読み込みを行うとクラッシュする不具合
- 初期設定において“プロジェクト/ミキサー選択の同期 (Sync Project & Mixer Selection)”をオンにして、[Shift]+クリックで最上・最下トラックを選択してすべてのトラックを選択すると、最端のミキサーチャンネルのみが選択される不具合

- フォルダ内のパートを他のフォルダやサブフォルダに移動するとクラッシュする不具合
- プロジェクトの読み込み時において認識されなかったデバイスマップのオートメーションデータのコントロール先が失われる不具合
- 標準ループモードから反転ループモードに切り換えるとプロジェクトがフリーズする不具合
- あるWindows XPシステム環境下において、マルチプロセッシングを有効にするとクラッシュを生じる不具合
- プロジェクトにおいて行方不明のビデオファイルを再生すると、GUIがフリーズする不具合
- スコアエディタ: [Ctrl]+[R]を押すとクラッシュする不具合
- プロジェクト開始時間を負の時間に設定すると、AES31/OpenTL/OMFの開始時間がずれる不具合
- OMFのボリューム情報がオートメーションデータとして正確に読み込まれない不具合
- AES31/OpenTL/OMF: プルモードで書き出しを行うと不適切な書き出し内容になる不具合
- AES31: 0時をまたぐ時間設定 (23:59:00:00~00:00:10:00の範囲など) で書き出しを行うと、BWF Origin Timestampとイベントの長さの情報が間違ってしまう不具合
- AES31: BWFファイルにおいてOrigin Timestamp情報が不明な場合、間違ったオフセットになる不具合
- OMFサブコンポジションからのクリップ読み込みに失敗する不具合

Nuendo 3.1

修正点:

- [Mac OS X] 画面の端 (Nuendoウィンドウの外側) に表示される不具合 - Tiger (10.4) において修正
- デフォルト名称を“外部FX (External FX)”からデバイス名などに変更して保存し、Nuendoを再起動した後、その内容が保存されていない不具合
- Avid EP 4.6で作成したAAFの読み込みに失敗する不具合
- クロスフェードはAES31の仕様外であるため、Pyramixで作成したAES31を読み込むと、含まれるクロスフェードイベントが消失してしまうことがあります。Nuendo側でオーバーラップされたイベントが確認できた場合、その箇所が(元ファイルでは)クロスフェードであった可能性があります。
- NuendoとDVWA500を9ピン接続した場合に、9ピンのパネルにタイムアウトと表示される不具合
- セレクション (Avid EP 4.6で作成されたOMFファイル。1イベントの代理バージョンのこと) が含まれるOMFファイルの読み込みをおこなった場合、全てのイベントが正常に読み込まれないことがあります。
- “初期設定 - 全般 - 起動時 (Preferences - General - on startup)”の“デフォルトプロジェクトを開く (Open Default Project)”が機能しない不具合
- プロジェクトを読み込んだ際、各チャンネルの“隠す (Can Hide)”、“狭く/広く (narrow/wide)”設定が正確に復帰できない不具合 (バージョン3xで作成したプロジェクトに対して修正)
- Mackie Controlデバイス設定において、“自動選択オン (Enable Auto Select)”設定が保存されない不具合
- プールの“不使用のメディアを除去 (Remove unused Media)”をマクロに組み込んだ場合に、適切に動作しない不具合
- “トランスポーズ (Transpose)”ダイアログにおいて“範囲外のピッチを整理 (Keep Notes in Range)”オプションが破損している不具合
- OMEの書き出しダイアログにおいて、“全ての情報を含める (Export All to one File)”と“イベントを統合 (consolidate events)”をオンにした場合に、各イベントのハンドルの長さがOMFファイルに保存されない不具合
- 2つのプロジェクトを開き、プロジェクト間を切り換えた際に、トラックコントロールのインサートバイパスボタンを右クリック (PC) / [ctrl]+クリック (Mac) して、使用中のプラグインの一覧を表示させるとクラッシュする不具合
- 複数のトラックにおいて同じ入力バスからレコーディングする際に、入力VUメーター表示が行われない不具合
- あるオーディオインターフェース (ECHO LaylaやSoundscape Mixtremeなど) において、ASIOディレイ補正が行われず、結果、MIDIとオーディオの同期が失われる不具合
- 複数のオーディオトラックに、複数の入力バスを割り当ててレコーディングできず、1つのトラックにしかレコーディングされない不具合
- ページの中ほど、または「次のページ」の初めの部分において、新しい調号/音部記号を挿入できない不具合
- スコアエディタにおいて調号を挿入した後にクラッシュする不具合
- オフラインプロセッシングのプラグイン設定を変更する際に生じた不具合
- レコーディングセッションがプレイバックされている際に、Arpache SXを使用するとノートが止まらなくなる不具合
- オーディオパートエディタ: 範囲ツールを使用した後にミュートツールを使用すると機能しない不具合
- スコアエディタにおいて“N”連符を作成するとクラッシュする不具合
- ミキサーにおけるインサートエフェクトのバイパス状況が、保存したとおりに復元されない不具合

- ・スコアエディタにおいて音部記号を変更すると、声部に影響する不具合
- ・スコアエディタにおいて、コピーされたトラックの歌詞が間違っただけになる不具合
- ・インプットトランスフォーマーにMIDIイベントをドラッグするとクラッシュする不具合
- ・Cubase 5.xのソングを読み込むとクラッシュする不具合
- ・複数のトランスポートボタンを同時に押すとクラッシュする不具合
- ・FXトラックのオートメーショントラックを作成し、そのFXトラックのプラグインの再読み込みや削除を行うと、アプリケーションがクラッシュする不具合
- ・プレイバックの際にMIDIパートの各ベロシティ値が反映されず、すべてのイベントが同じベロシティ値でプレイバックされる不具合
- ・プラグイン情報ウィンドウにおいてDirectXプラグインをオフにしても、オフライン処理メニューでDirectXプラグインが有効のままになる不具合
- ・スコアエディタにおいて、表示するノートの長さが適切に反映されない不具合
- ・付点音符の和音において、付点が整列しない不具合
- ・オーディオワーブをオンにしている場合に、テンポトラックにおいて傾斜カーブを作成してプレイバックを行うとクラッシュする不具合
- ・スコアエディタにおけるドラムマップ設定が記憶されていない場合がある不具合
- ・スコアエディタを閉じる際に、MIDIとオーディオがしばらくドロップアウトする不具合
- ・多くのイベントにおいてワーブ、ミュージカルモード、トランスポーズ、クロスフェードの各処理が行われている場合に、オーディオイベントの編集が遅くなる不具合
- ・トラックの書き出し/トラックファイルの読み込みにおいて、開始時間が間違っただけで設定される不具合
- ・フォルダトラックにおいて、フォルダ内でコピー/ペーストを行うと、ペーストされたイベントの位置がずれる不具合
- ・フォルダトラックの複製を行うと選択が外れる不具合
- ・複製 (Duplicate) コマンドを使用すると、イベント/パートのグループが解除される不具合
- ・フォルダトラックにおいて作成されたグループのシグナルパスから、サウンドが聴こえない不具合
- ・プロジェクトウィンドウにおける複数のフォルダを展開できない不具合
- ・スコアエディタにおいて、音符の符頭の形状を変更できない不具合
- ・ピッチエンベロープにおいてMPLEXを使用すると、レイテンシーがシフトする不具合 (- このシフトはタイムストレッチ時に補正する必要があります)
- ・スコアエディタにおいて、ノートを低音部譜表に移動すると整列しない不具合
- ・オフセットが行われているイベント (オーディオイベントをカットしたり、後半部分にプロセッシングを行ったものなど) に対してMPLEXアルゴリズムを使用して処理すると、間違っただけの結果になる不具合
- ・マルチトラックレコーディングを行う際、ズーム率によってアプリケーションがフリーズする不具合
- ・MIDIインサートFXについて、Mackie Controlディスプレイと表示が異なる不具合
- ・デュアルCPUのコンピューターにおいてハーパースレッドをオンにした場合に、アプリケーションを完全に終了させる事ができなかったり、プロジェクト読み込みの際にクラッシュする不具合
- ・フリーズしたVSTインストゥルメントのトラックを含むプロジェクトを読み込むと、アプリケーションがクラッシュする不具合
- ・プロジェクトを保存せずに閉じる際に、作成したファイルを削除するオプションで“はい (Yes)”を選択すると、アプリケーションがクラッシュする不具合
- ・スコアエディタにおいて、2段目の譜表で音部記号を変更するとアプリケーションがクラッシュする不具合
- ・スコアエディタのページモードにおいて、MIDIステップ入力を使用すると生じる不具合
- ・プール: ステレオファイルをモノファイルに変換するとクラッシュする不具合
- ・プール: オーディオファイルに対してテンポ情報を即時に保存できない不具合
- ・4拍のカウントインを行った後に、MIDIプリレコードが機能しない不具合
- ・ダイアログをキャンセルする際に[Esc]キーを押すと、望ましくない動作を生じる不具合
- ・プレイバック中に、VSTコネクションウィンドウでグループを除去するとアプリケーションがフリーズする不具合
- ・パッチ名称リストを使用した場合に、書き出すMIDIファイルにプログラムチェンジ情報が含まれない不具合
- ・プロジェクトを読み込んだ後にランダムにクラッシュする不具合
- ・ワークスペースを呼び出すと、各トラックのソロ状況が変更してしまう不具合
- ・スコア - 複数のパートを選択すると、ステップ入力を適切に行えない不具合
- ・スコア - 非常に多数のノートの削除を取り消すと (Undo)、アプリケーションがクラッシュする不具合
- ・スコア: 一群のノートを横方向に微調整すると、符尾の長さが変化してしまう不具合
- ・スコア: 矢印キーでノートを選択した場合、ノートの選択状況 (ハイライト表示) が不正確になる不具合
- ・スコアエディタにおいて、ページレイアウトに際するいくつかの不具合
- ・ビデオクリップを使用して編集する際、シャトル再生を行うとロックアップしてしまう不具合
- ・スコアエディタにおいて、ある譜表から他の譜表にイベントを移動すると、符尾が間違っただけの状態になる不具合
- ・パートをコピーすると、スコアエディタの各記号が失われる不具合

- スコアエディタのテンポ記号が間違っただテンポ値を表示する不具合
- スコアエディタの「隠す (Hide)」機能が適切に機能しない不具合
- VSTコネクションウィンドウにおいて物理入力を選択せずに、モニタリングをオンにするとアプリケーションが不安定になる不具合
- ある状況下において、ファイルを負の数の長さに移動/リサイズすることが可能となり、断続的にクラッシュする不具合
- サラウンドパンニングの際にゲーム・ジョイスティックを使用すると、フリーズする不具合
- ビデオ [PC版のみ]: Windowsシステム上でQuickTimeビデオプレーヤーを使用した場合に、早送り、スクロールなどの際に、サムネイルが表示されない不具合
- Nuendo 3.xにおいて、レコーディング時のレイテンシーが変化する不具合 - バッファサイズが高いとレイテンシーが高くなる (負の値に)
- キーエディタを開いたままオートメーションを書き込むと、書き込みが終了しない不具合

Nuendo 3.0.2

追加機能：

- プレイオーダートラックの状況もプロジェクトファイルに保存されるようになりました。

修正点：

- 複数のイベントのボリューム、オートメーション、またはリンクされたミキサーのフェーダーなどを操作した際にdBの関連性が保持されない不具合
- OpenTLファイルをインポートした後に、間違っただプロジェクトのスタートタイムが表示される不具合
- 複数のオートメーションポイントの相対的なレベルが正しくない (対数関係を保持しない) 不具合
- トランスポートの録音開始/停止ボタン操作していると同時にリモートコントロールデバイスを使用してトラックの録音をオンにするとアプリケーションがロックする場合がある不具合
- AES31 が日 (0) をまたげない不具合
- Mac OS 9.0.4上のAvid 4.1.1で作成されたOMF2ファイルをインポートする際に埋め込まれたオーディオがインポートされない不具合
- オーディションチャンネルのコンフィギュレーションを変更 (例: 5.1からステレオに変更) するとミキサーの表示がすぐに更新されない不具合
- 初期設定の「エディタのリンク (Link Editor)」がMIDIリストエディタで機能しない不具合
- 「レーン-並べる (Fixed Lane)」レコーディングモードでクロスフェードをアンドゥするとエラーの原因になる不具合
- Nuendoで作成したOMFファイルをProToolsにインポートすると、1つのトラックと1つのクリップしか現れない不具合
- サラウンドパンナーが開いている際に[Ctrl]+[W]でプログラムを終了しようとするクラッシュする不具合
- フェードイン/アウトがクロスフェードと重なるとOMFにエクスポートできない不具合
- 「範囲を詰めて削除 (Delete Time)」機能を使用するとクラッシュする場合がある不具合
- 「Date Format 1」が使用されると、「名称の変更 (Rename)」が機能しない不具合
- (「X」) ボタンでウィンドウを閉じるとプログラムがクラッシュする不具合
- MIDIパートを分割すると、情報ラインの「移調 (Transpose)」と「ベロシティ (Velocity)」がリセットされる不具合
- [Macのみ] 5.1バスにMatrix Encoder/Decoderをインサートするとクラッシュする不具合
- Paris Systemで作成されたOMF2ファイルがNuendo3で開けない不具合
- プールからドラッグ&ドロップすると間違っただチャンネルタイプになる不具合
- 間違っただバージョンの「REX Shared Library.dll」が使用されていた不具合
- トラック録音を行う際の挙動がおかしくなる不具合
- 拡張ミキサー表示の際、「狭い (Narrow)」設定のMIDIチャンネルにMIDIメーターが表示されない不具合
- サイズの小さいAES31をインポートする際に生じる不具合
- イベントのボリュームとオートメーションのレベルが「-∞」の時に詰まってしまう不具合
- 「スコアドラムマップを使用 (Use Score Drum Map)」をオンにした後にドラムエディタを開くとクラッシュする不具合